

研究拠点形成事業シンポジウム“Molecular Physiology of Neuronal Signaling, Circuits and Behavior”を開催

2023年1月12日から14日まで同志社大学室町キャンパスでシナプスないし関連領域の研究シンポジウムを開催しました。参加者はドイツ側から Hallermann (Uni. Leipzig)、Brose (MPI Goettingen)、Rosenmund (HU Berlin)、Lipstein (FMP Berlin)、Haucke (FMP Berlin)、Sigrist (FU Berlin、オンライン)、Neher (MPI Goettingen、オンライン)、Moser (Uni Goettingen)、オーストリア側から Shigemoto (ISTA)、デンマーク側から Walter (Uni Copenhagen、オンライン)、日本側からは高橋 (OIST)、合田 (OIST)、川辺 (群馬大)、高森 (同志社)、御園生 (同志社)、坂場 (同志社)らが参加、発表等を行いました (以上、敬称略)。事業外の招待講演者として慶応大の柚崎先生にご講演いただきました。また、学生、若手研究者を中心に13のポスター発表もありました。1月時点ではコロナの第8波の渦中であり、懇親会などは残念ながら難しい状況でしたが、研究に関しては活発な議論が行われました。コロナの中での国際研究事業には難しさがありますが、若手を中心に少しずつ注意しながら海外派遣も再開しつつあります。今後、シンポジウムは今後5年、ドイツ、デンマークでの開催を予定しています。

集合写真

